

令和7年度

**病院プラン結果概要
(大阪府・南河内二次医療圏)**

Contents

① 令和7年度病院プラン結果

- (1) 病院プランの提出状況
- (2) 病床機能別病床数
- (3) 病院機能分類結果概要

② 将来のあるべき医療体制に向けて

- (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等

① 令和7年度病院プラン結果

- (1) 病院プランの提出状況
- (2) 病床機能別病床数
- (3) 病院機能分類結果概要

① (1) 病院プランの提出状況

圏域においては、すべての病院から病院プランが提出されている

● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	1	1	100.0%
公的	4	4	100.0%
民間等	29	29	100.0%
合計	34	34	100.0%

● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	1	1	100.0%
②急性期病院	6	6	100.0%
③急性期ケアミックス型病院	10	10	100.0%
④地域急性期病院	0	0	-
⑤後方支援ケアミックス型病院	5	5	100.0%
⑥回復期リハビリ病院	0	0	-
⑦慢性期病院	12	12	100.0%
⑧分類不能	0	0	-
合計	34	34	100.0%

① (1) 病院プランの提出状況

大阪府全体では、すべての病院から病院プランが提出されている

●病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	22	22	100.0%
公的	51	51	100.0%
民間等	386	386	100.0%
合計	459	459	100.0%

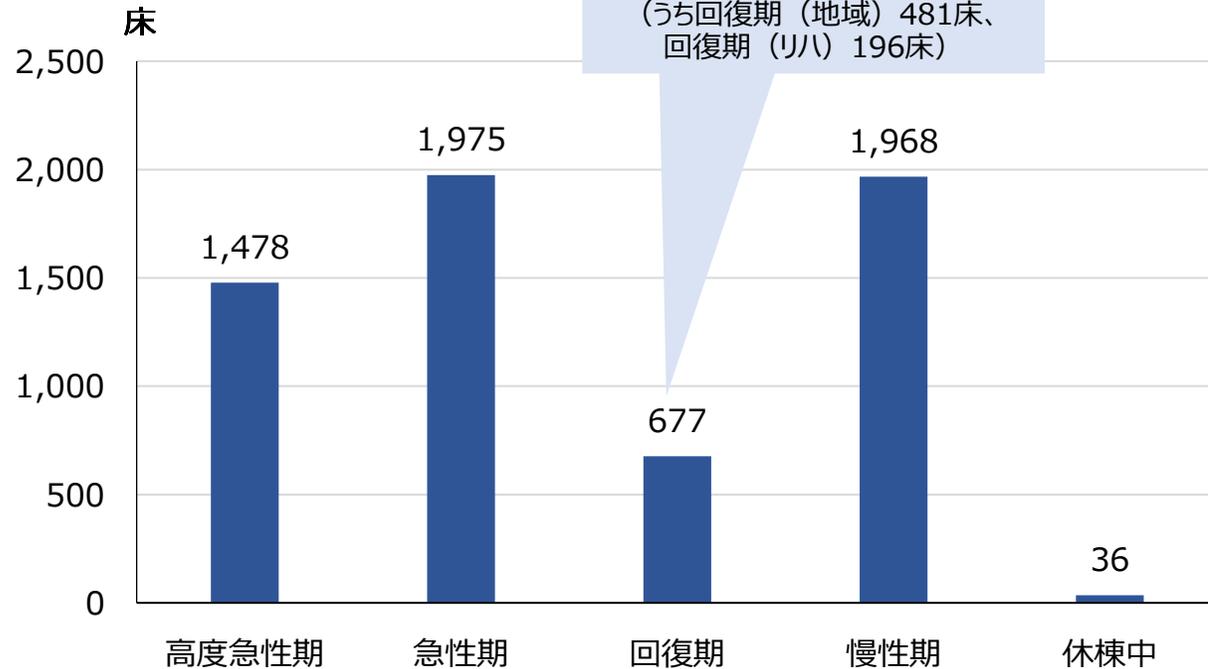
●病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	7	7	100.0%
②急性期病院	94	94	100.0%
③急性期ケアミックス型病院	122	122	100.0%
④地域急性期病院	30	30	100.0%
⑤後方支援ケアミックス型病院	84	84	100.0%
⑥回復期リハビリ病院	18	18	100.0%
⑦慢性期病院	102	102	100.0%
⑧分類不能	2	2	100.0%
合計	459	459	100.0%

① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

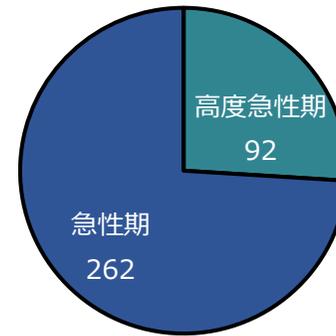
圏域では、病床機能は、公立病院では急性期及び高度急性期、公的病院では高度急性期および急性期、民間等病院では慢性期および急性期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



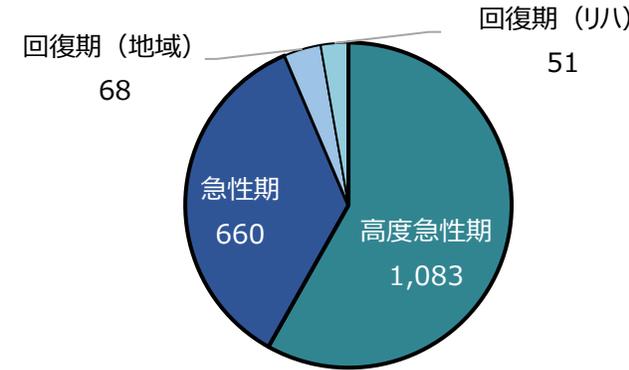
● 病床機能別病床数の割合 (公民別)

<公立> (1病院)



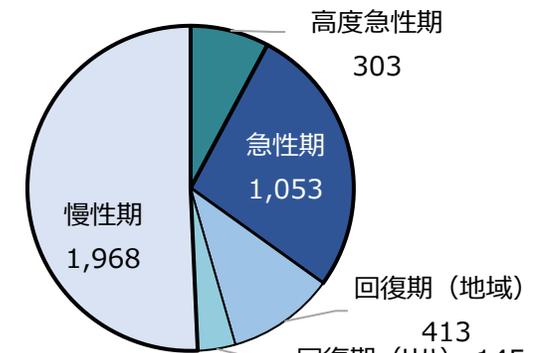
病床数 (合計) (※休棟中除く) 354床

<公的> (4病院)



病床数 (合計) (※休棟中除く) 1,862床

<民間等> (29病院)



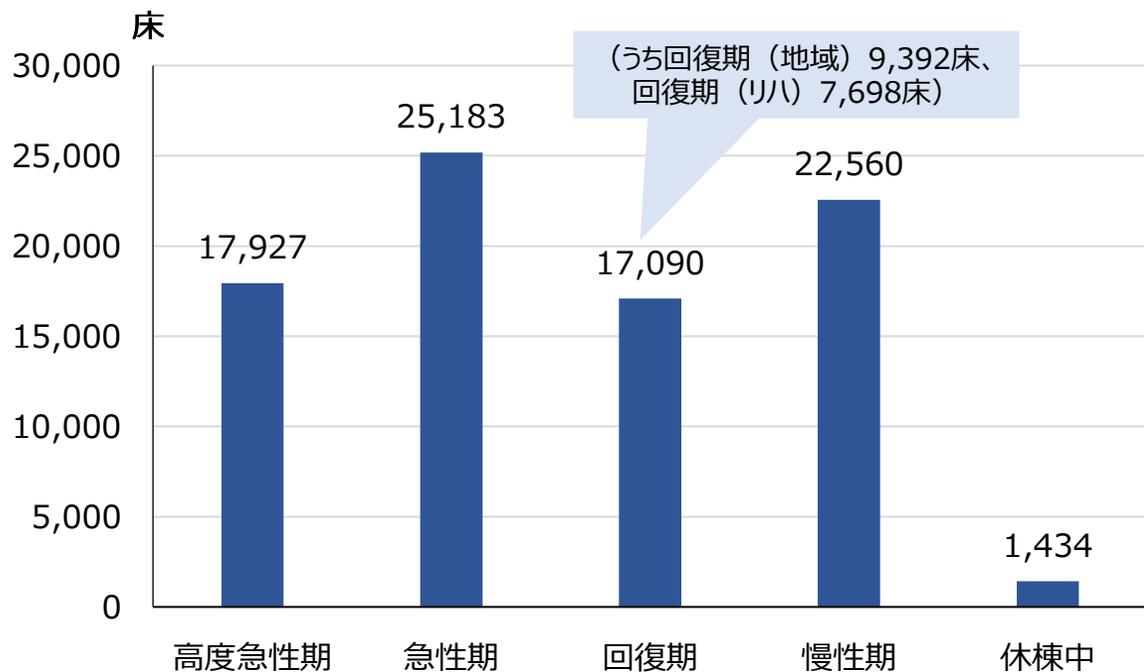
病床数 (合計) 3,882床 (※休棟中除く)

参照：令和7年度病院プラン (1月22日現在)

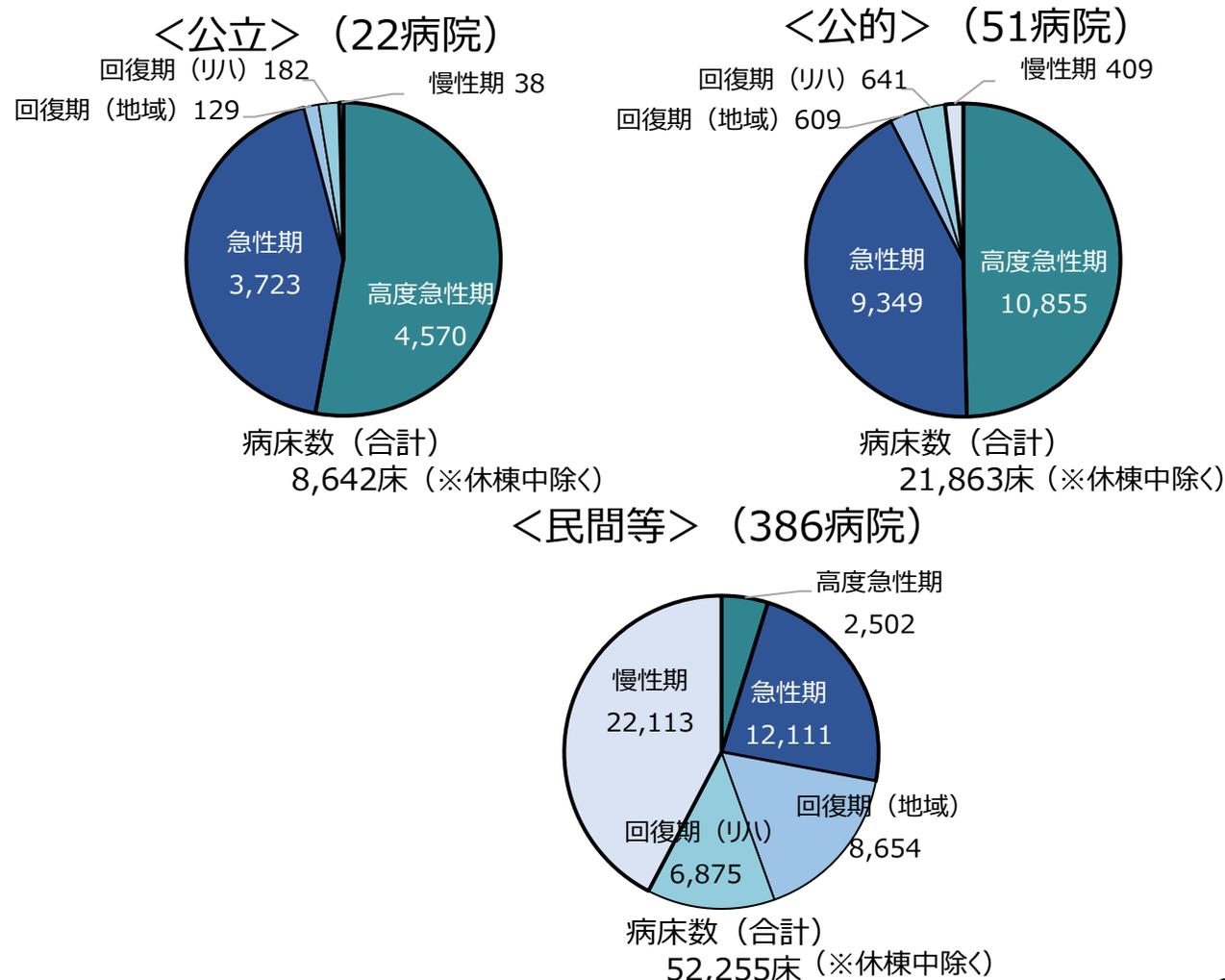
① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

大阪府全体では、病床機能は、公立・公的病院では高度急性期および急性期
民間等病院では慢性期および回復期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



● 病床機能別病床数の割合(公民別)



参照：令和7年度病院プラン（1月22日現在）

① (3) 病院機能分類結果概要

圏域においては、病院機能の見える化の結果を踏まえ、
地域医療構想の推進にかかる機能分化について議論していく

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	病院機能							
			高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能	
特定機能病院	1	919 床	919 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
急性期病院	6	1,324 床	358 床	948 床	18 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	10	1,993 床	201 床	1,027 床	266 床	196 床	267 床	36 床	0 床	0 床
地域急性期病院	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	5	543 床	0 床	0 床	197 床	0 床	346 床	0 床	0 床	0 床
回復期リハビリ 病院	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	12	1,355 床	0 床	0 床	0 床	0 床	1,355 床	0 床	0 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
合計	34	6,134 床	1,478 床	1,975 床	481 床	196 床	1,968 床	36 床	0 床	0 床

① (3) 病院機能分類結果概要

病院機能の見える化を図ることにより、今後の機能分化の議論の活性化を図る

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	機能分類						
			高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	7	5,590 床	4,928 床	595 床	0 床	0 床	0 床	67 床	0 床
急性期病院	94	25,119 床	10,536 床	13,635 床	195 床	45 床	96 床	612 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	122	25,156 床	2,463 床	10,953 床	3,615 床	3,650 床	3,972 床	503 床	0 床
地域急性期病院	30	1,776 床	0 床	0 床	1,721 床	0 床	0 床	55 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	84	13,569 床	0 床	0 床	3,851 床	2,333 床	7,267 床	118 床	0 床
回復期リハビリ 病院	18	1,670 床	0 床	0 床	0 床	1,670 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	102	11,283 床	0 床	0 床	10 床	0 床	11,225 床	48 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	2	31 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	31 床	0 床
合計	459	84,194 床	17,927 床	25,183 床	9,392 床	7,698 床	22,560 床	1,434 床	0 床

(参考) 病院機能分類

- 地域に必要な医療を持続的に提供していくため、病院の役割分担による体制づくりを検討していくことが重要。
- 現在各病院が有する病床機能等から、**大阪府独自に病院の機能・役割の見える化を図るため、病院機能を分類（令和4年度より）。**

病院機能分類		分類の考え方
分類区分		
1	特定機能病院	特定機能病院
2	急性期病院	高度急性期と急性期の病床の合計割合が病床（一般・療養）の9割以上
3	急性期ケアミックス型病院	高度急性期または急性期の病床を有するが、当該病床の割合が病床（一般・療養）の9割未満
4	地域急性期病院	回復期病床（地域（リハビリ以外））の割合が病床（一般・療養）の9割以上
5	後方支援ケアミックス型病院	1～4、6、7の区分に属しない病院
6	回復期リハビリ病院	回復期病床（リハビリ）の割合が病床（一般・療養）の9割以上
7	慢性期病院	慢性期病床の割合が病床（一般・療養）の9割以上

各病院の役割の基本的なイメージ

各病院は役割に応じた機能の維持・強化を図ることが期待され、**特に、現在回復期（サブアキュート・ポストアキュート）を担っている病院は、回復期機能を強化していくことが望まれる。**

病院の主な役割	特定機能病院	急性期病院	急性期 ケアミックス型病院	地域急性期病院	後方支援 ケアミックス型病院	回復期リハビリ 病院	慢性期病院	
①高度医療の提供及び研修、高度医療技術開発等	↕	↕	↕					
②重症患者の救急受入機能 （脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療等）								
③地域診療拠点機能（がん、災害、小児、周産期等）								
④サブアキュート機能（大腿骨骨折や肺炎等軽度の急性期患者の受入【救急、在宅医療の後方支援機能】）	回復期機能			↕	↕			
⑤ポストアキュート機能（回復期リハビリ患者の受入）				↕	↕	↕	↕	
⑥長期入院が必要な患者の受入							↕	

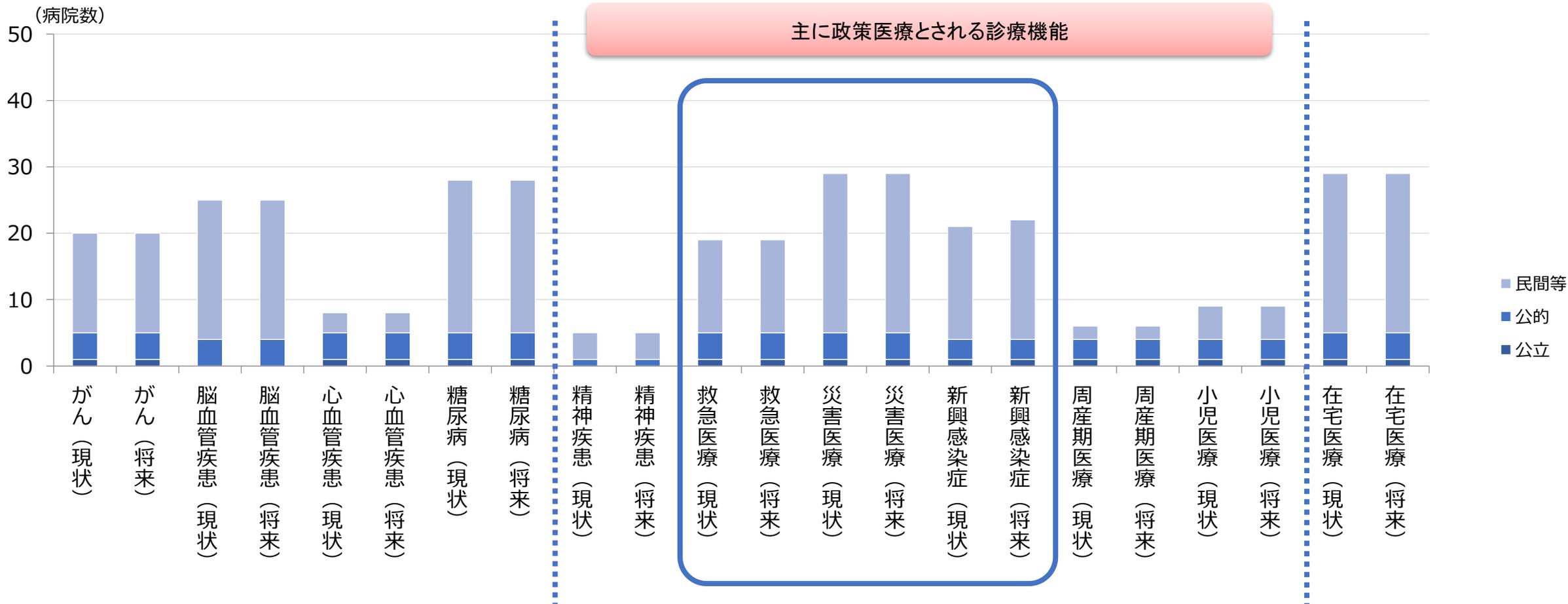
② 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等

② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

圏域では、「救急医療」「災害医療」「新興感染症」については、多くの民間等医療機関においても引き続き機能を担うことを検討している

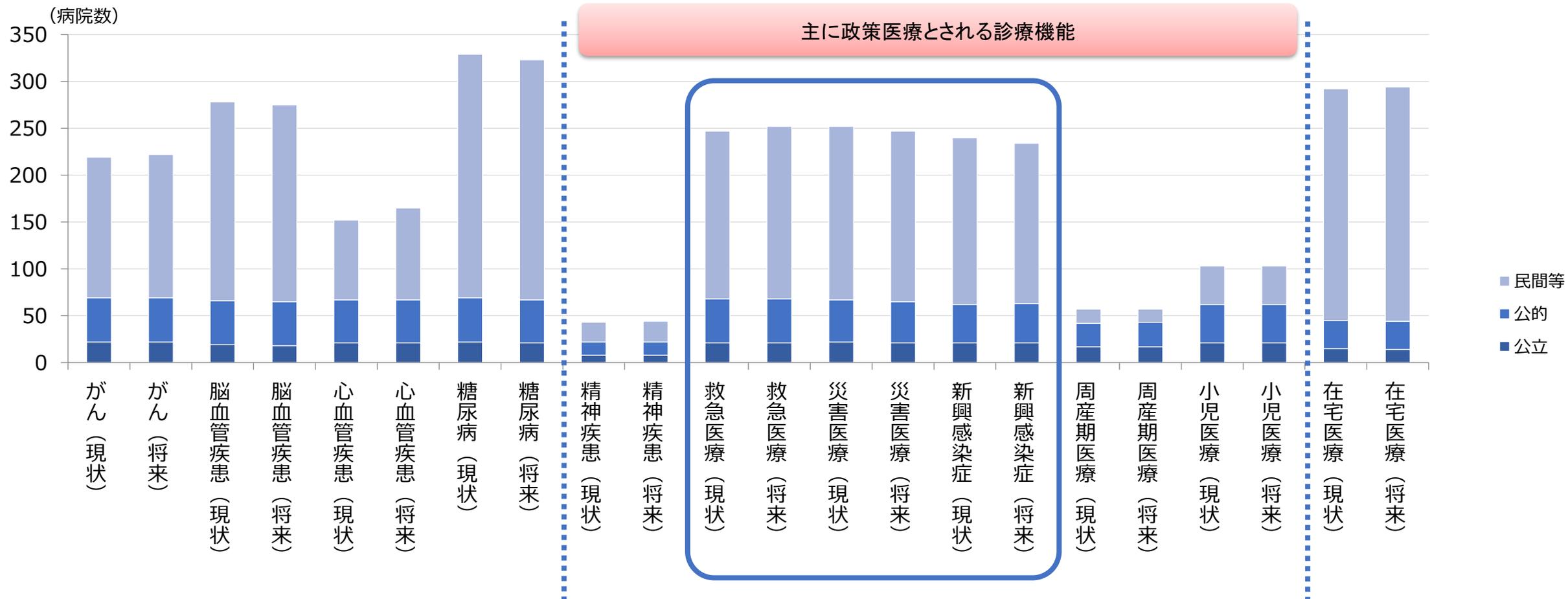
1 診療機能別「現状の機能」と「2026年に向け検討している機能」の比較



② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

大阪府全体でも、主に政策医療とされる診療機能の中で、「救急医療」「災害医療」「新興感染症」については、多くの民間等医療機関においても引き続き機能を担うことを検討している

1 診療機能別「現状の機能」と「2026年に向け検討している機能」の比較

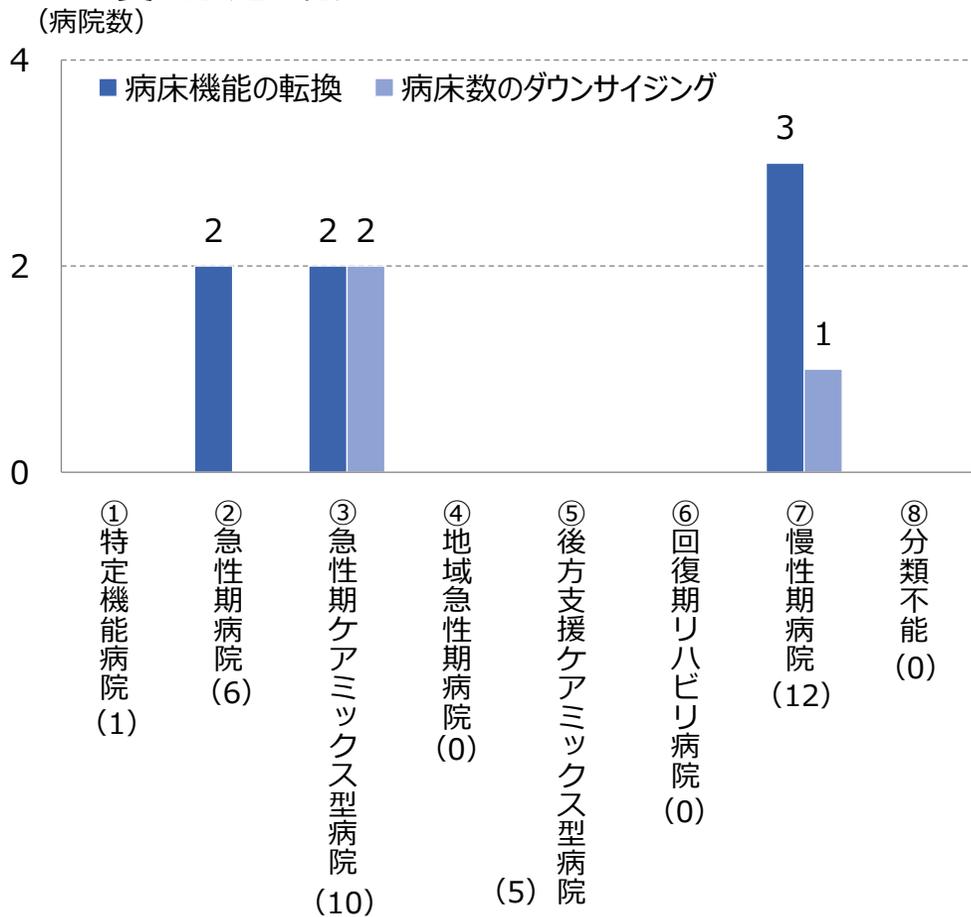


② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

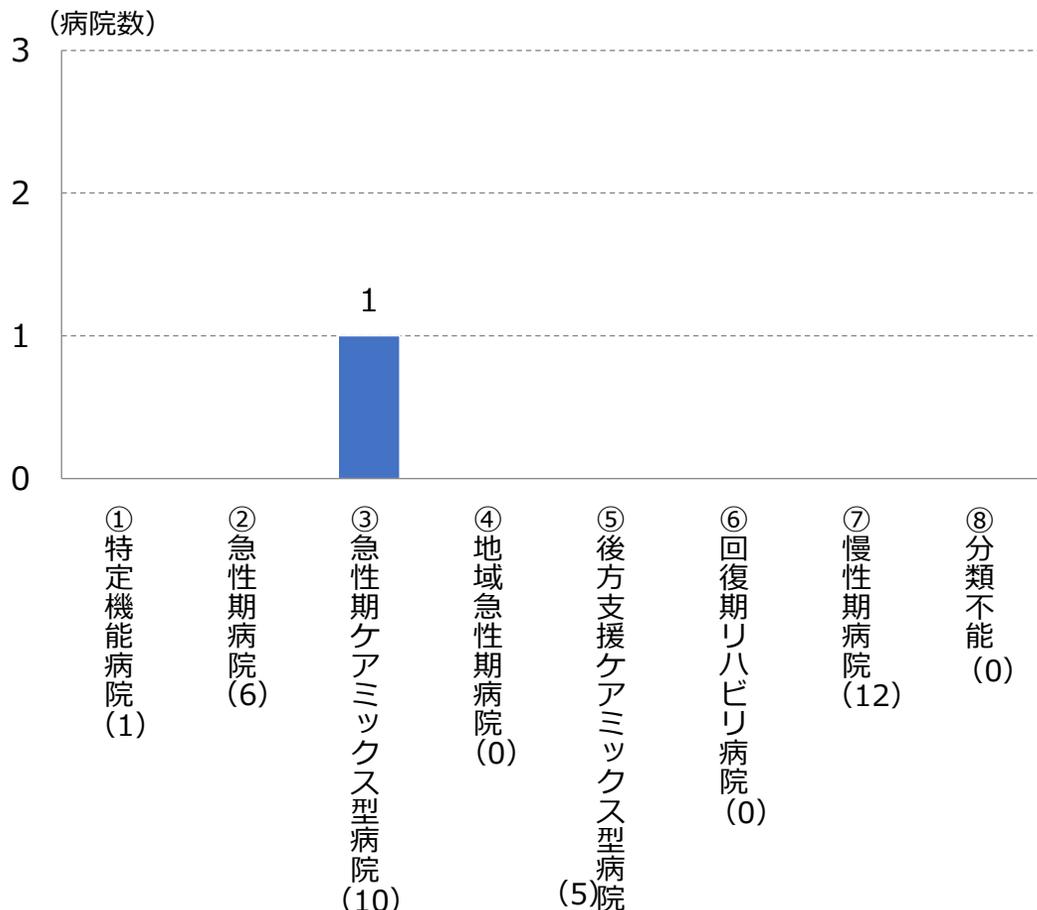
圏域では、2026年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期が最も高く約33%となっている

2 今後の病院の方針①

● 2026年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無



● 地域医療介護総合確保基金 (病床転換促進事業補助金) の活用の希望

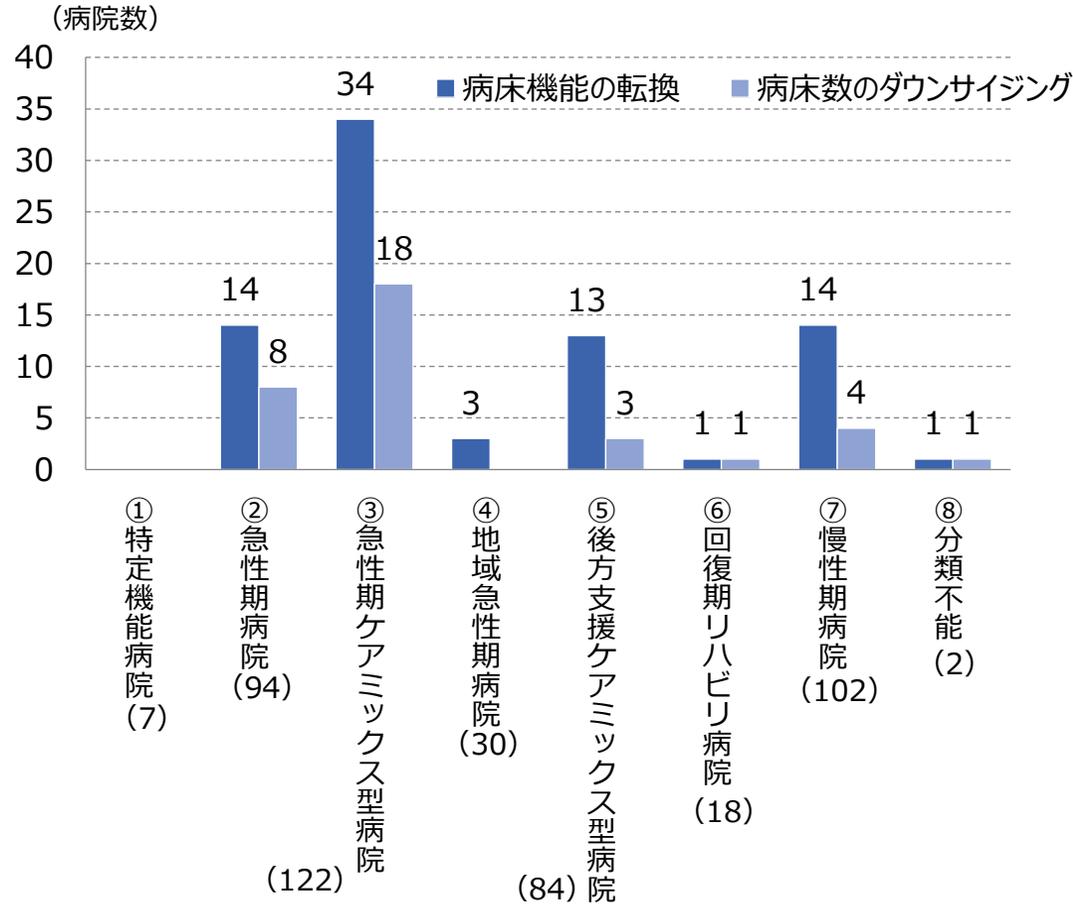


② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

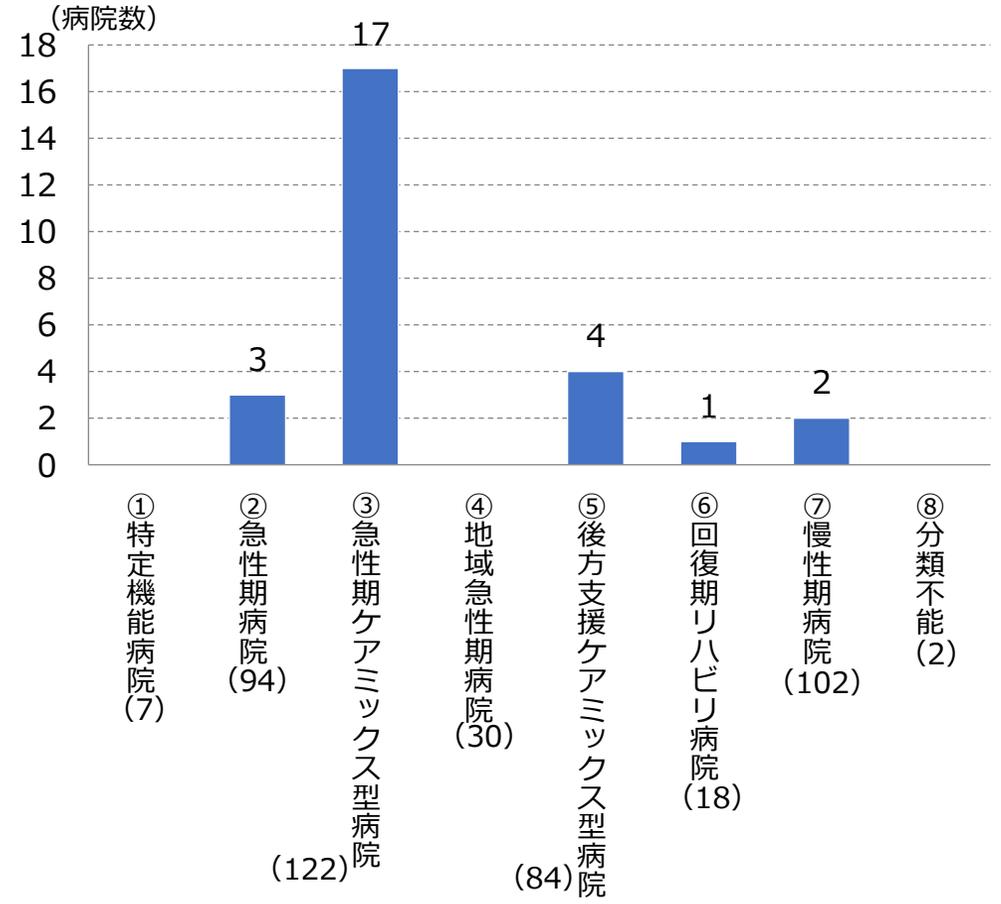
大阪府全体では、2026年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型が最も高く約28%となっている

2 今後の病院の方針①

●2026年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無



●地域医療介護総合確保基金 (病床転換促進事業補助金) の活用の希望

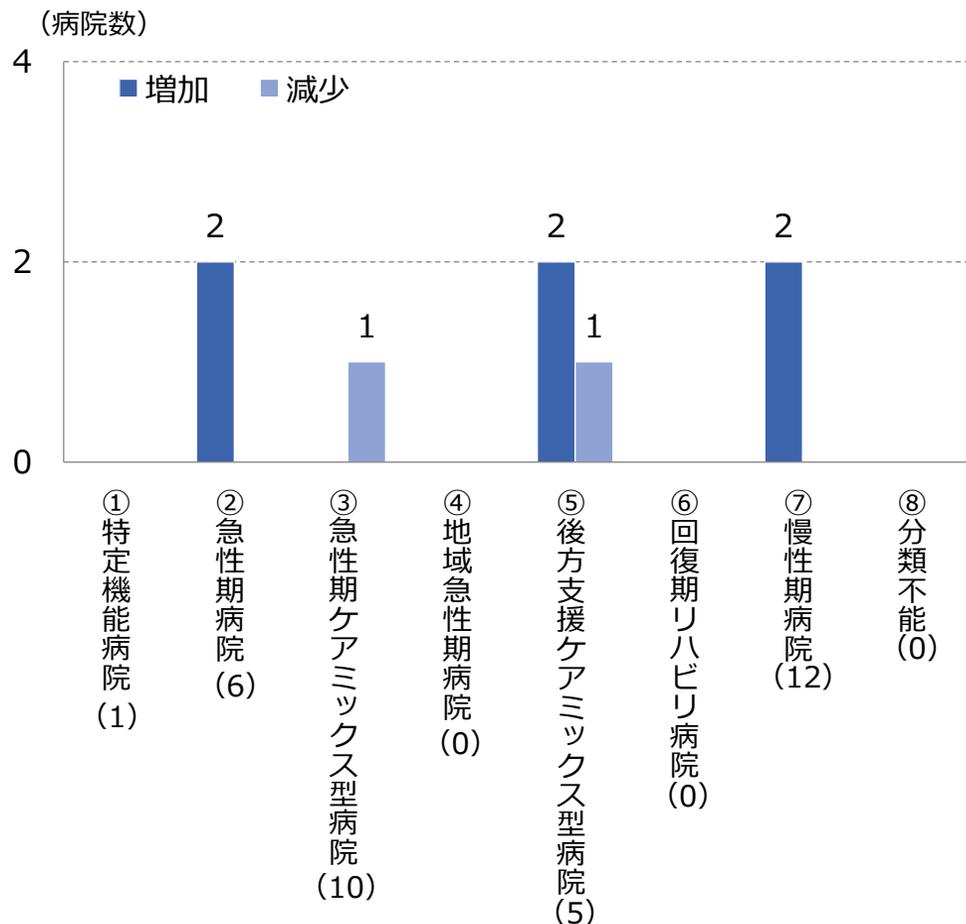


② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

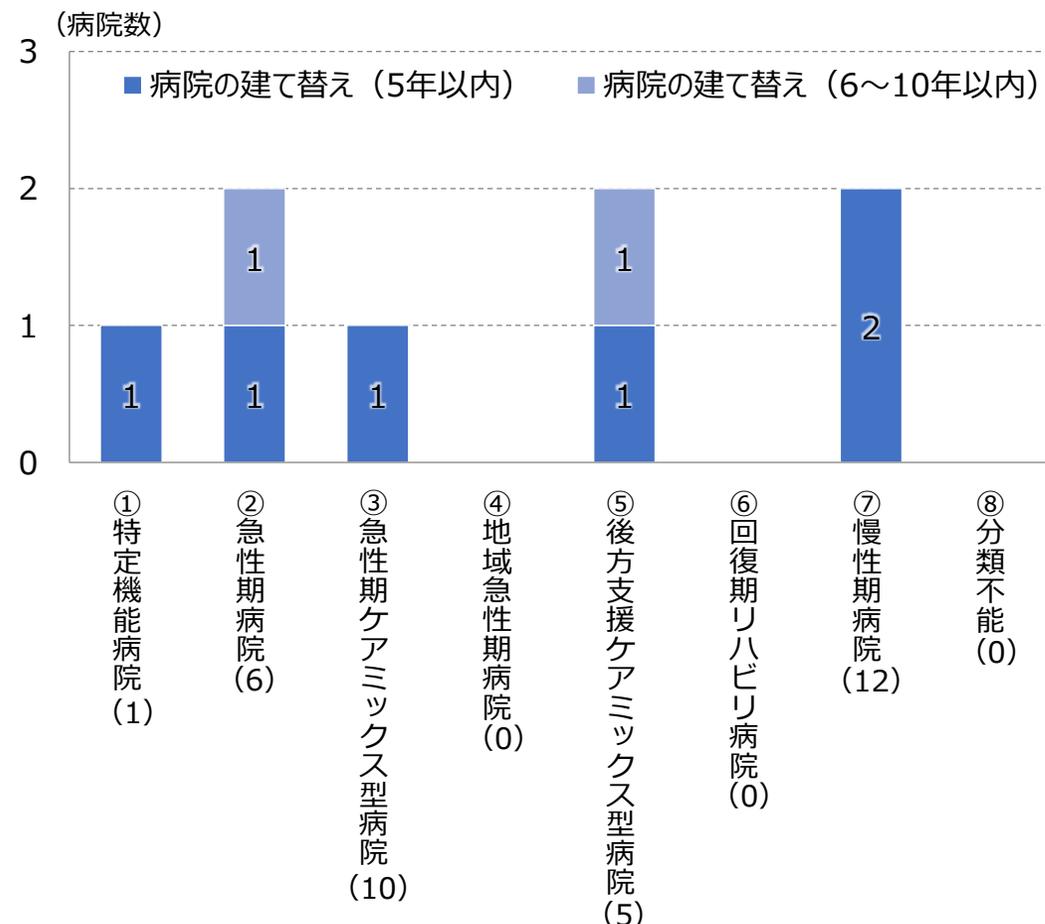
圏域では、2026年に向け診療科の増加を検討している医療機関は6病院、減少を検討している医療機関は2病院となっている。また、今後、10年以内に建替えを予定している医療機関は8病院である。

2 今後の病院の方針②

● 2026年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2026年に向けた建替え予定の有無

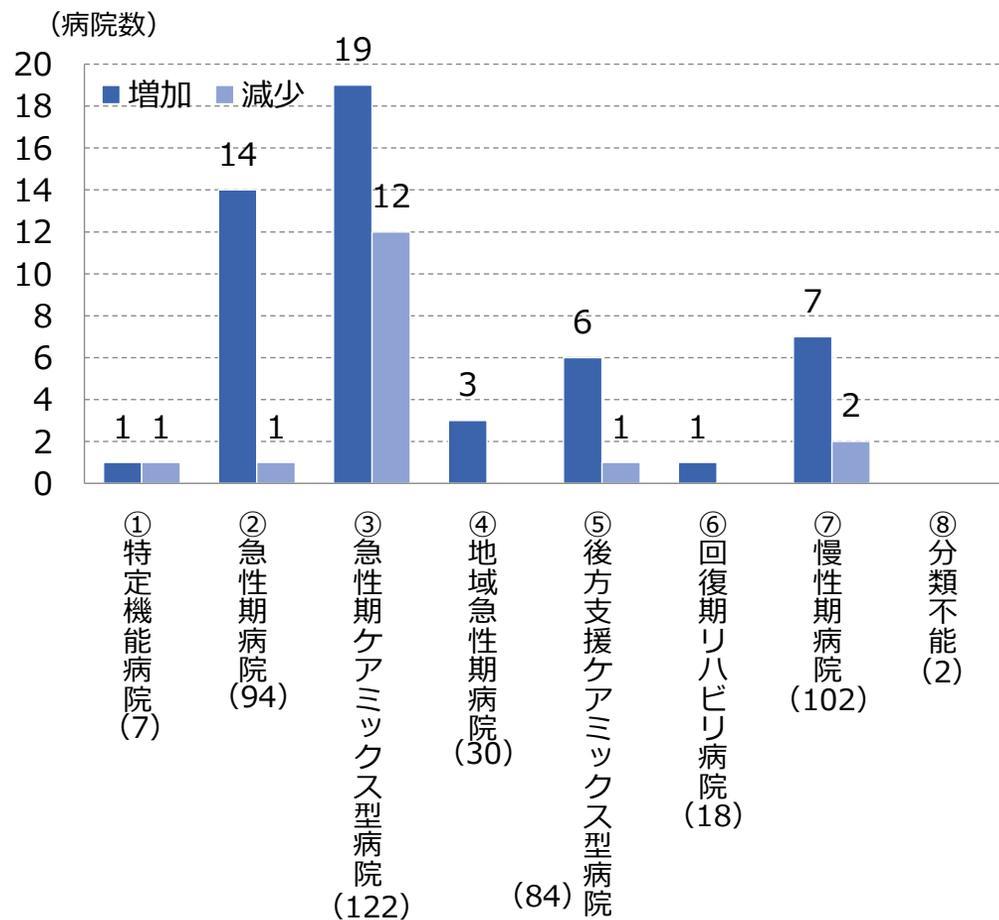


② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

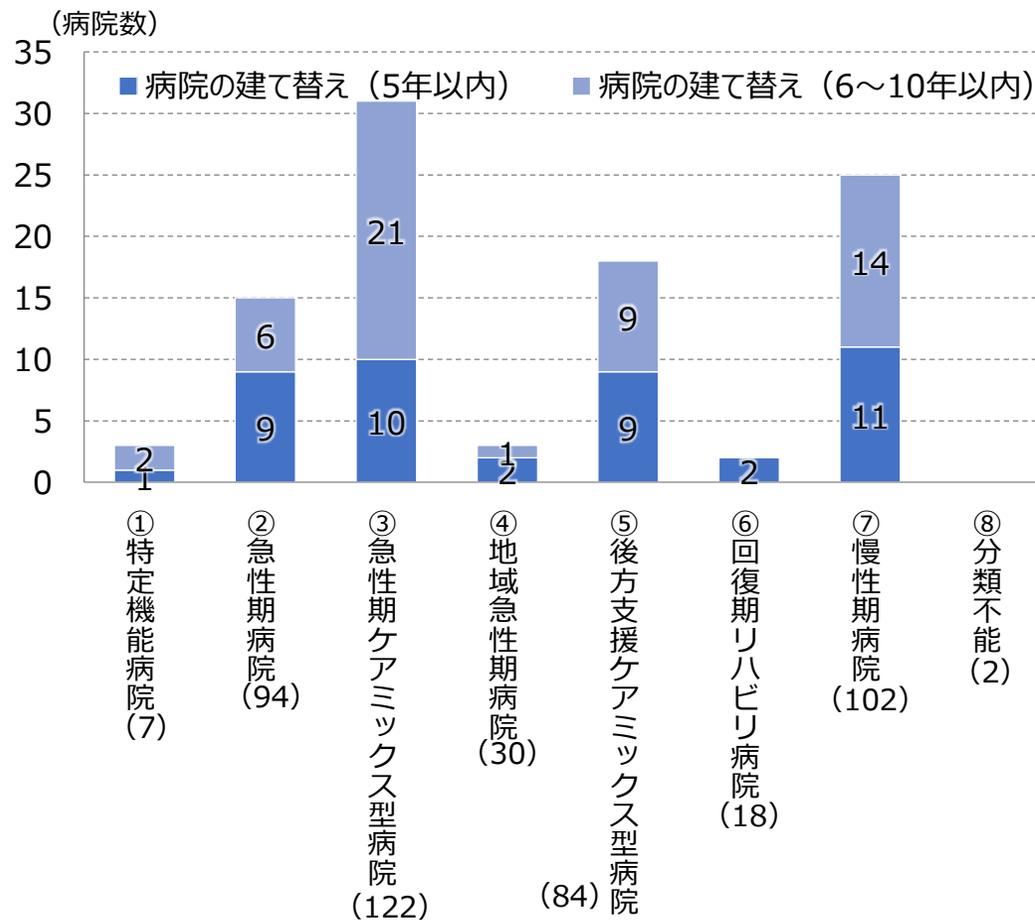
大阪府全体では、2026年に向け診療科の増加を検討している医療機関は51病院、減少を検討している医療機関は17病院となっている。また、今後、10年以内に建替えを予定している医療機関は97病院である。

2 今後の病院の方針②

● 2026年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



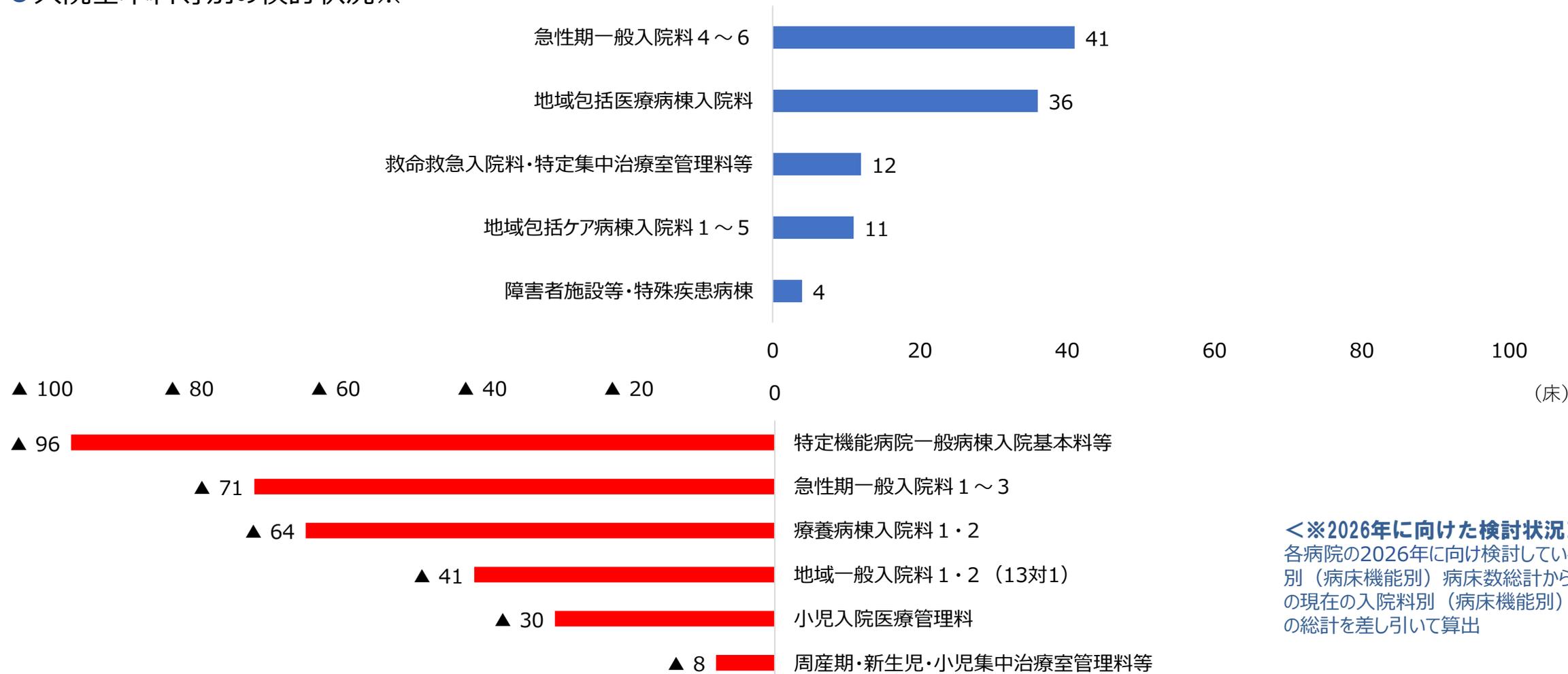
● 2026年に向けた建替え予定の有無



② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

圏域では、今後、急性期一般入院料4～6や地域包括医療病棟入院料等の増加、特定機能病院一般病棟入院基本料等や急性期一般入院料1～3等の減少が検討されている

● 入院基本料等別の検討状況※



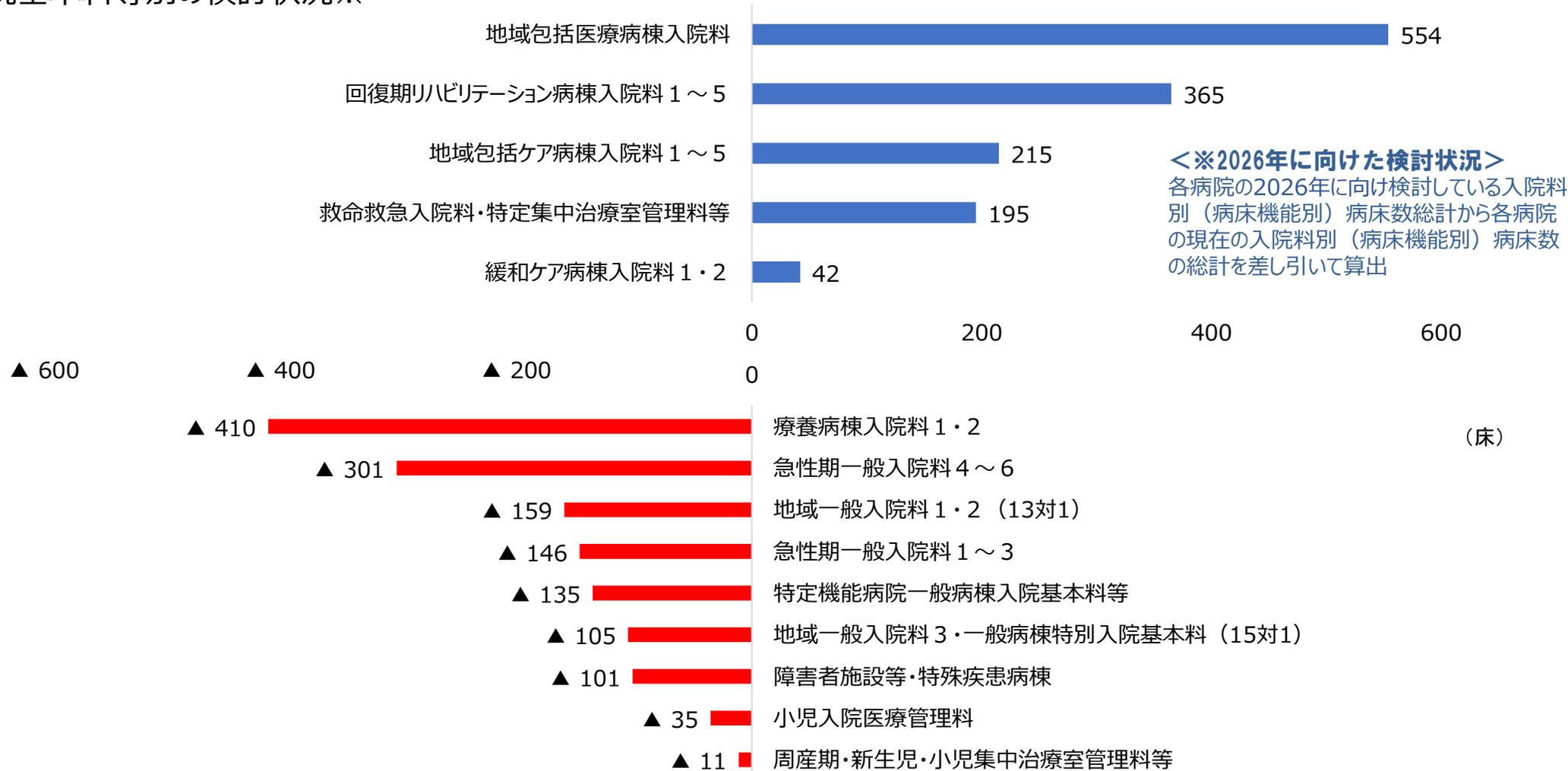
<※2026年に向けた検討状況>

各病院の2026年に向け検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

大阪府全体では、各病院が検討している病床機能等の変更は、
地域医療構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致している

● 入院基本料等別の検討状況※



<※2026年に向けた検討状況>

各病院の2026年に向け検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

圏域では、2026年に向け、各病院が検討している病床機能等については、民間等病院で急性期への転換が多くなっている

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2026年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期	地域		慢性期	休棟中/休棟予定/廃止予定	計
				地域	リハ			
公立	92	214	0	0	0	0	48	354
公的	964	660	119	68	51	0	0	1,743
民間等	305	1,079	551	406	145	1,908	0	3,843
計	1,361	1,953	670	474	196	1,908	48	5,940

2026年に向けた現状（2025年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期	地域		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	±0	▲ 48	±0	±0	±0	±0	+48	±0
公的	▲ 119	±0	±0	±0	±0	±0	±0	▲ 119
民間等	+2	+26	▲ 7	▲ 7	±0	▲ 60	▲ 36	▲ 75
計	▲ 117	▲ 22	▲ 7	▲ 7	±0	▲ 60	+12	▲ 194

② (1) 2026年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

大阪府全体では、2026年に向け各病院が検討している病床機能については、
 公立病院では高度急性期、公的病院では急性期、民間等病院では回復期への転換が多くなっている

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2026年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	休棟中/ 休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	4,711	3,714	273	109	164	38	60	8,796
公的	10,370	9,586	1,173	575	598	484	311	21,924
民間等	2,605	12,227	16,066	8,733	7,333	21,472	62	52,432
計	17,686	25,527	17,512	9,417	8,095	21,994	433	83,152

2026年に向けた現状（2025年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	+141	▲ 9	▲ 38	▲ 20	▲ 18	±0	▲ 178	▲ 84
公的	▲ 485	+237	▲ 77	▲ 34	▲ 43	+75	▲ 155	▲ 405
民間等	+103	+116	+537	+79	+458	▲ 641	▲ 668	▲ 553
計	▲ 241	+344	+422	+25	+397	▲ 566	▲ 1,001	▲ 1,042